

リーディングDXスクール事業【実践事例】

防府市立大道中学校（山口県）

【取組内容①】クラウド上で学習支援ソフトによる生徒のアイデアや作成した資料を共有して、グループで課題の共同作成する工夫

1年生「大道地域の防災士と下関気象台との防災学習」

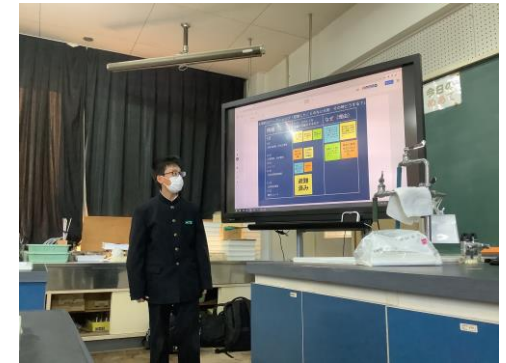


内容：『大雨防災ワークショップ』

ゲストティーチャー

下関地方気象台 松尾 有希子 様
大世渡 政直 様

大道防災士協議会



自然災害が発生しそう、または、発生したときに、身の回りがどのような状況になるかを予測したり、想定された場面でどのように行動すればよいかを考えたりすることを通して、自然災害による危険と避難行動について学習した。

映像や写真を用いて、災害の具体的なイメージをもてるように支援した。防災気象情報を活用し、大雨に対する避難行動を考えさせた。自分の身を守るための行動や対応など、班討議をシートの共同編集機能を使って行い、検討を行った事項を発表し、他者の考えなどを理解し、新しい気付きをもつことができた。